



EXAM ROADMAP

最短ルートで合格するための戦略と実行プラン

中小企業診断士 1次試験 独学ロードマップ 完全版

迷わず合格まで進める
“意思決定ガイド”



総学習時間

469時間



学習期間

約1年



実績

1次試験一発合格

作成者

なかりよ (中小企業診断士)

はじめに | こんな悩みはありませんか？

？ 独学者のよくある悩み

何から始めればよいか分からない

膨大な試験範囲を前に、最初の一步が踏み出せない

勉強法が合っているか不安

努力の方向性が正しいのか、確信が持てないまま進めている

7科目の配分や優先順位に迷う

全科目を均等に進めてしまい、効率が悪くないか心配

💡 このPDFで得られること

✓ **自分に合った学習計画を設計できる**
合格までの全体像を把握し、迷いなくスタートできる

✓ **科目の優先順位と具体的なやり方が分かる**
「理解系」と「暗記系」の戦略的な攻略法を伝授

✓ **すぐ使えるテンプレートとチェックリスト付き**
今日から行動に移せる実践ツールで合格をサポート

試験の構造と合格基準

一次試験 7科目の概要

科目名	配点	試験時間
A. 経済学・経済政策	100点	60分
B. 財務・会計	100点	60分
C. 企業経営理論	100点	90分
D. 運営管理	100点	90分
E. 経営法務	100点	60分
F. 経営情報システム	100点	60分
G. 中小企業経営・政策	100点	90分
合計 / 平均	700点	—



合格基準

- ① 総得点 60%以上 (420点)
かつ
- ② 全科目 40%以上 (足切りなし)



学習時間の目安

一般目安: 500~800時間

筆者実績: 469時間 (効率化重視)



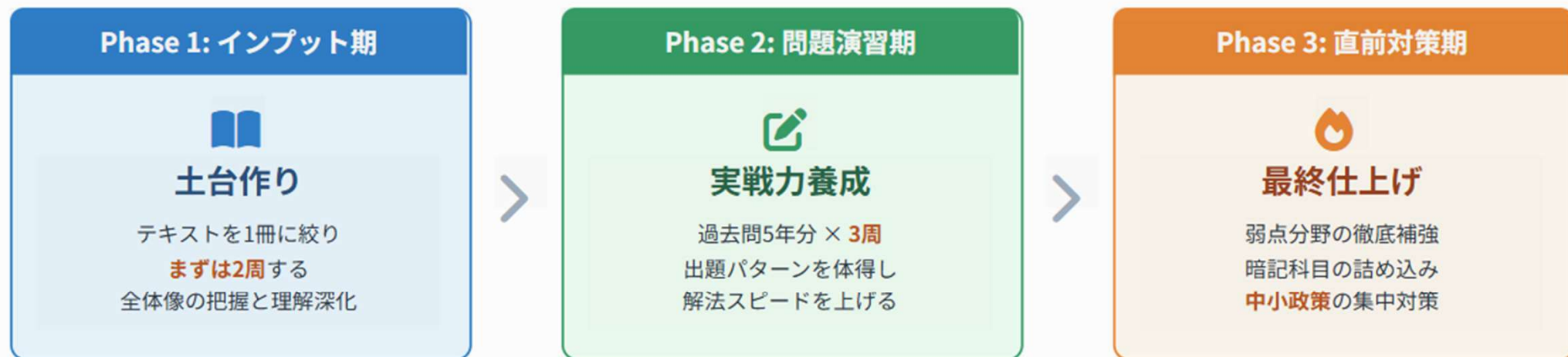
試験日程・形式

年1回 (例年8月上旬の土日2日間)

マークシート方式

※科目合格制度あり (有効期限3年)

合格までの全体像（6～12ヶ月）



期間別配分プラン例

12ヶ月プラン

6ヶ月 (インプット)

4ヶ月 (演習)

2ヶ月 (直前)

6ヶ月プラン

3ヶ月 (インプット)

2ヶ月 (演習)

1ヶ月 (直前)

戦略の核心 | 科目の優先順位



鉄則: 理解 → 暗記

基本戦略

理解系科目を**早期**に固め、
暗記系科目は**後半～直前**で
一気に詰め込む

理由

理解系 (財務・経済など)

一度理解すれば記憶定着が長く、忘れにくい

暗記系 (法務・情報など)

直前の短期集中学習が最も点数に結びつく

① 最優先

企業経営理論

全科目の基盤となる最重要科目。2次試験との関連も深い。

② 早期に固める

財務・会計 / 運営管理 / 経済学

理解系科目群。時間をかけて仕組みを理解する必要がある。
特に財務・会計は演習量が必須。

③ 後半で詰める

経営法務 / 経営情報システム

暗記系科目群。忘却曲線との戦いになるため、試験3～4ヶ月前から集中。

④ 直前期集中

中小企業経営・政策

完全暗記科目。統計データが毎年更新されるため、
最新版テキストで直前1～2ヶ月に詰め込むのが鉄則。

Phase1 | インプット期 (4~6ヶ月)

やること

テキストを1冊に絞って2周

1周目：通読（全体像の把握）

細かい部分は気にせず、まずは最後まで読み切る。
「どんな言葉が出てくるか」を知るだけでOK。

2周目：理解（精読）

図表や例題を確認しながら「なぜそうなるか」を整理。

推奨教材

みんなが欲しかった！
中小企業診断士の教科書 (TAC出版)

▲ 浮気せずこれ1冊を信じる！

目安時間



250~350時間

成果定義（ゴール）



主要概念の因果関係と用語を、
自分の言葉で説明できる状態



NG行動

- 不安になって複数のテキストに手を出す
→ 情報が分散して知識が定着しない
- 1周目から完璧に理解しようとして止まる
→ まずは全体像をつかむことが最優先

Phase2 | 問題演習期 (3-4ヶ月)



やること: 過去問5年分 × 3周

1周目 理解重視。間違いの理由を言語化

解けなくて当然。解説を読み込み、「なぜその答えになるか」を理解する。
不明点は必ずテキストに戻って確認 (往復学習)。

2周目 ×問題だけ再挑戦。弱点克服

1周目で間違えた問題に絞って演習。
自分の弱点論点を明確にし、集中的に潰していくフェーズ。

3周目 全問再解。選択肢の理由説明

「なんとなく正解」を排除。
すべての選択肢について、正誤の理由を自分の言葉で説明できるか確認。



使う教材

『第1次試験 過去問題集』

TAC出版 等

※解説が充実しているものを選ぶのがポイント。
科目別に分かれているものが使いやすい。



目安時間

150~250時間

(1日2時間 × 3~4ヶ月)

最も実力が伸びる期間。
ここで合否が決まる。

Phase3 | 直前対策期 (1~2ヶ月)

📋 やること

✔️ 弱点論点の徹底補強

過去問演習で見つかった苦手分野を、テキストに戻って再学習し完全に潰す。

✔️ 暗記3科目の完成

経営法務・経営情報システム・中小企業経営政策。
直前まで記憶を維持・強化する。

⚠️ 中小企業経営・政策の集中

最新版の演習問題集を使用する。
※過去問は統計データが古いため、傾向把握のみに留めること。

💡 ポイント

当日運用の最適化 (リハーサル)

- 本番と同じ時間で問題を解き、本番形式に慣れる
- 時間配分を決める (難しい問題の「捨て時」を見極める練習)
- 解く順番を固定する (得意な設問から解くなど)

🕒 目安時間

100~150 時間

時間帯別 学習戦略

脳の働きに合わせて学習内容を変えることで、定着率と効率を最大化します。

時間帯	特性・役割	推奨する学習内容・科目
 朝 ゴールデンタイム	脳が最もクリアな状態 思考力・集中力が必要な作業に最適	理解系科目の深い学習 企業経営理論 経済学 財務・会計 新しい概念の理解、複雑な理論の整理
 夜 リラックス・整理	記憶定着の直前 アウトプットと復習で知識を整理	問題演習・復習・分析 過去問演習 ミス分析 過去問を解く、間違えた問題の原因分析、翌日の計画
 通勤・隙間 スキマ時間	単純作業・反復 短い時間での繰り返しが効果的	暗記系科目の単純記憶 経営法務 経営情報 中小政策 単語カード、スマホアプリでの用語・数値暗記

学習運用のコツ



① 1コマ 60分で区切る

人間の集中力には限界があります。長時間ダラダラやるより、時間を区切って集中密度を高めましょう。

② "次にやる小タスク"を前夜に決める

朝起きてから「何しよう?」と考える時間は無駄です。前夜に教材を開いて机に置いておくだけで、スタートダッシュが切れます。

企業経営理論 | すべての基盤

科目の特徴

経営戦略論・組織論・マーケティング論の3領域で構成され、全科目の土台となる最重要科目。
用語の定義だけでなく、企業活動全体を俯瞰する視点が求められます。

攻略の鍵

因果関係の理解と具体的な事例の想起がカギです。「AだからBになる」という論理を追い、実際の企業事例に当てはめて考える癖をつけましょう。
2次試験（事例I・II）にも直結するため、深い理解が不可欠です。

つまづきポイント

選択肢の記述が非常に抽象的で、単純な用語暗記だけでは正誤判定が困難です。「日本語の問題」と感じるほど微妙なニュアンスの違いが問われることも多く、初学者が最も苦戦する壁の一つです。

効果的な演習法

過去問演習では、正解を選ぶだけでなく、誤りの選択肢について「なぜ誤りなのか」を自分の言葉で説明する練習を徹底してください。
この「誤りの理由付け」こそが、曖昧な選択肢を見抜く判別力を鍛える最短ルートです。

財務・会計 | 得点源化の要点



基本方針

- ✓ 簿記3~2級レベルがあればBS/PLの構造理解が格段に加速
- ✓ 2次試験（事例IV）に直結。
付け焼刃ではなく**本質的な理解**に時間を投資すべき最重要科目

▲ つまづき対策

経営指標を「計算式の丸暗記」で乗り切ろうとしないこと。

「その指標は何を表すか？」
を分解して理解することが近道。

優先分野の流れ

財務諸表
分析



CVP
分析



NPV
意思決定



原価
計算



管理
会計

スピードUP・解答手順

1. 設問先読み
何を求めるか把握



2. 式の抽出
必要な数値だけ拾う



3. 概算・判断
当たりを付ける/捨てる

得点目安

安定して**60~70%**を狙う運用 ※難化年は無理せず足切り回避の安全運転で

経済学・運営管理 | 理解で固めて長期記憶に

経済学・経済政策

学習のアプローチ

ミクロ→マクロの順で学習するのが鉄則。
数式よりも**グラフ**で原理を把握することを重視する。

重点キーワード

需要・供給曲線 弾力性 費用曲線 IS-LM分析 AD-AS分析

物価・為替

攻略のコツ

グラフを**自分で何も見ずに描ける**ようにする。
線がシフトする要因（何が起きると右へ動くか等）を
自分の言葉で説明できれば得点源になる。

運営管理

科目構成と特徴

生産管理 + 店舗・販売管理の2部構成。
図表読解、計算問題、専門用語の知識が混在する。

重点キーワード

在庫管理 生産ライン IE（作業研究） 品質管理(QC)

店舗レイアウト 物流・JANコード

攻略のコツ

頻出論点の**暗記と理解を往復**する。
特に生産管理は2次試験（事例III）に直結するため、
単なる用語暗記ではなく「改善の視点」を持つ。

経営法務・経営情報システム | 暗記は後半で一気に

経営法務

特徴

範囲が広く、法律用語が難解。民法から会社法、知財まで多岐にわたる。

★ 頻出分野（ここを優先）

- 会社法（組織再編・株式）
- 知的財産権（特許・商標の要件）
- その他（独禁法・下請法）

攻略のコツ

暗記量が多いが、**図解・語呂・横断整理**で効率化。
条文は丸暗記せず「要件（どういう時に）」→「効果（どうなるか）」のセットで覚えるのが鉄則。

経営情報システム

特徴

IT用語の暗記が中心。アルファベット3文字の略語が多く、苦手意識を持ちやすいが、慣れれば得点源。

★ 頻出分野（ここを優先）

- セキュリティ（攻撃手法・対策）
- ネットワーク/DB（基礎技術）
- システム開発・運用（統計情報含む）

攻略のコツ

最新用語（AI・IoT等）は深追いしすぎず、過去問に出る**頻出キーワード**を確実に覚える。
分からない用語は画像検索してイメージで定着させる。

中小企業経営・政策 | 直前期の切り札

特徴：白書と施策のデータ勝負

「中小企業白書」と「中小企業施策」の2本柱。最大の特徴は**統計データや施策内容が毎年更新される**こと。古い知識は逆に命取りになるため、鮮度が命の科目です。


戦術：最新データへの一点集中

✓ **過去問は形式把握のみ**
古い過去問の正解は今の不正解になり得るため、深追いは厳禁

✓ **当年度版テキストで「吐き出し」**
数値や制度名を隠して言えるか確認する「吐き出し練習」を繰り返す

重要ポイント：直前まで伸びる

 **当日まで伸びる「暗記の王道」**
理解の壁が少ないため、覚えた分だけ点数に直結します

 **直前1-2週間は最優先投資**
試験直前期にこの科目に集中投下することで、総合点を一気に底上げ可能

よくある失敗パターン（回避法つき）

多くの独学者が陥る「5つの罠」と、その具体的な回避策を紹介します。

完璧主義

- ✓ 満点は不要。60%で合格できる試験と割り切り、「まず1周回す」ことを最優先にする。

科目の優先順位なし

- ✓ 「理解系→暗記系」の順序を厳守。全科目均等に進めず、時期に応じた科目に集中する。

インプット過多

- ✓ 過去問3周を学習の軸に据える。解けない箇所だけ教科書に戻り、理解を定着させる。

暗記科目を早期にやりすぎ

- ✓ 本番まで記憶が持たないリスク大。暗記系（法務・情報・中小）は直前期に集中して詰め込む。

計画倒れ

- ✓ 壮大な計画より「週次の最小目標」を重視。（例：今週は○章×ページ進める、論点×設問解く）

週単位スケジュールテンプレート

📅 平日（仕事あり）の例

朝
6:30-7:30
企業経営理論 / 経済学の理解
脳がフレッシュな時間に理解系科目を投入

通勤・隙間
計 30-60分
法務・情報・中小の用語暗記
単語帳アプリや音声教材で耳学習

夜
20:30-22:00
過去問（1～2セット） + ミス分析
時間を測って解く → 解説を読む
翌日の「朝」に理解し直す箇所をマーク

☕ 休日（まとまった時間）の例

午前
9:00-11:00
財務・会計の集中演習（2時間）
60分時間を計って本番形式で解く

午後①
13:00-15:00
弱点補強（2時間）
平日のミス分析で見つけた「穴」を埋める

午後②
15:30-16:30
中小企業経営・政策（1時間）
白書のグラフ読み取りや施策の暗記
直前期以外は他科目の予備時間へ



運用ルール

1. 毎日寝る前に「明日やるタスク」を頭の中にメモする（意思決定のエネルギー節約）
2. 学習時間はアプリ等で記録し、週次で集計して進捗を確認する

Phase別スケジュール例

12ヶ月プラン（標準コース）

Month 1 - 6
インプット期（全科目2周）

土台作り：理解系科目から着手

Month 7 - 10
演習期（過去問5年×3周）

実戦力強化：解法パターンの確立

Month 11-12
直前期

仕上げ：暗記・模試

6ヶ月プラン（短期集中コース）

Month 1 - 3
インプット期

超集中：テキストの高速回転

Month 4 - 5
演習期

効率重視：頻出論点に絞る

Month 6
直前期

中小・暗記科目の総仕上げ

最終チェックリスト

🚩 学習開始前チェック

- 試験日程と申込期限を確認した
- 主教材（テキスト）と過去問題集を1社に統一して購入した
- 週あたりの学習時間を具体的に宣言した

例: 平日2時間 × 5日 + 休日5時間 × 2日 = 週20時間

📚 Phase別 達成チェック

- Phase1 (インプット): テキストを全科目2周完了した
- Phase2 (演習): 過去問5年分 × 3周完了した
正解だけでなく、解説の内容を自分の言葉で説明できる
- Phase3 (直前): 暗記2科目と中小政策を仕上げた

📈 科目別 到達度チェック

- 企業経営理論: 過去問で安定して60%以上取れる
- 財務・会計: 計算ミスが減り、60~70%を狙える状態
- 運営管理・経済学: 頻出論点のグラフや図表が頭に入っている
- 暗記系科目: 直前模試等で合格ラインに達している

🛡️ 失敗回避チェック

- 「理解 → 暗記」の優先順位を守っている
- 複数のテキストや問題集に手を出していない
- 暗記科目を早期にやりすぎしていない（直前集中）
- 完璧主義にならず、60点合格を目指して割り切っている